



A T F A Lu N A 20th

アトファルナろう学校開校20周年

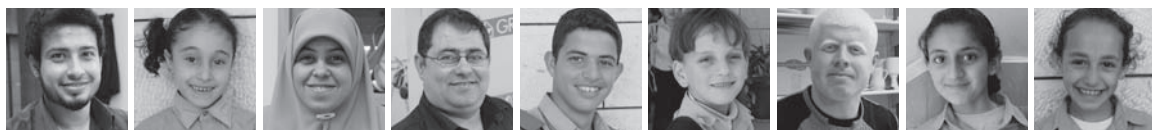
今年5月、アトファルナろう学校は開校20周年を迎えます。

1992年に当会の支援のもと、ガザ地区で初めてのろう学校としてスタート。

現在では小・中学校、幼稚園、聴覚検査、刺繍・木工などの職業訓練、家庭支援、カフェテリアなど
様々なサービスや就労の場をろう者に提供し、地域、行政、国連から頼られる存在です。

昨年9月にはガザ地区にろう者のための公立高校が開校し、アトファルナの卒業生も多数進学しました。

その設立にもアトファルナ20年の経験が活かされています。



ナイーム校長

20年という歳月をかけて成果を作り上げてきた一員であることを、アトファルナの職員一同誇りに感じています。

今年には大きな挑戦の年になります。今後の明るい未来と更なる成功に向けて職員一丸となって頑張っていきたいと思います。パレスチナ子どものキャンペーンをはじめ、寄り添ってくださった友人たち、支援者の皆さんに心から感謝を申し上げます。

ろう者の公立高校開設に協力

2011年9月、ガザに初めてのろうの公立高校が開校され210人が入学しました。生徒の半数はアトファルナの卒業生です。アトファルナで働きながら、土曜日の授業と試験のみを受けに来ている社会人も22人います。授業はパレスチナ手話が中心で、教師の中にはアトファルナでの指導経験を持つ人もいます。

アトファルナは先駆者として、普通高校のカリキュラムをろう者が学ぶのに適した形に編集するのに協力。20年間で培ってきた専門性と経験がここでも活かされ、ろう者の勉強継続を可能にしています。

高校生に話を聞きました

◆インティサルさん(17歳、高一)

2009年にアトファルナの中学校を卒業。家事手伝いをしていましたが、開校と同時に入学しました。家族も高校入学を喜んでくれていて、卒業後も勉強を続けてほしいみたいです。

色々な地域の子たちとも友達になれました。手話が少し違っていました。手話やインターネットでおしゃべりしています。

高校ではアラビア語、数学、英語、理科、地理、歴史、宗教、美術、技術、体育など勉強しています。難しいのはアラビア語。私は英語が好きです。英語も難しいけれど、頑張っています。

英語と体育をもっと勉強したいし、卒業したら仕事もしたい、行ったことない場所にも行ってみたい。インターネットで他の人ともっと会話をしてみたい。将来は医者や看護師、エンジニアに興味があります。

◆ヌーラさん(18歳、高一)

アトファルナでは教科書の重要な項目を選んで勉強していたけれど、高校では12教科を並行して最初から最後までやるのが大変です。学年

末試験が近いから準備しないと！

空手が好きなので、もっと体育の時間があればいいと思います。大学に入って体育を勉強して、体育の教師になれたらなと思っています。

◆ラワンさん(18歳、高一)

美術で人の顔を描くのが好きです。もっと練習したいですが、他の科目で忙しいですね。美術の勉強をして、美術関係の仕事をして、それからもし美術の先生になれたら嬉しいです。勉強が好きだし、大事なことだと思います。教育が将来につながっていると思うし、私に希望を持たせてくれます。

私たちはアトファルナで日本のろう学校の様子をビデオで見ました。その時に「世界中にろう者はいるんだ」とわかったんです。日本では手話も違うし、文字も違うことに気づきました。英語や日本語の手話を勉強して他の国のろう者と話せるようになりたい。お互いの手話を教え合いたいです。



ヌーラさん、ラワンさん、インティサルさん